

寄付活動の途中経過ご報告 コロナウイルス禍によって困難に直面している学生を支援するための支援 約2か月間で寄付金額約2,000万円に到達

立命館アジア太平洋大学（APU、別府市、学長：出口治明）は、今年4月28日に「新型コロナウイルス禍に対する学びの緊急支援 APU版」を発表し、学生への経済支援等を開始するとともに、5月上旬にはさらなる原資を積み上げるため、APU教職員や卒業生をはじめAPUに関係する皆様に寄付へのご協力を呼びかけて参りました。これと並行して、APU卒業生・教職員有志による団体「APU Hands」が立ち上がり、食料現物の寄付および寄付金により学生への支援物資配布が開始されました。寄付活動は今年12月末まで継続予定ですが、今回は寄付活動の途中経過をご報告いたします。

【学長メッセージ～学生への支援についてのご報告と御礼～】

緊急学生支援金にご支援をくださった皆さま
APU Handsへのご支援をくださった皆さま

平素は立命館アジア太平洋大学(APU)の教育研究活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年5月上旬より、コロナウイルス禍によって様々な困難に直面している学生を支援するための寄付活動を呼びかけさせていただき、約2か月間で大変多くの皆さまからご支援を頂戴いたしました。APUの学生に温かいご支援をくださり、本当にありがとうございます。

経済的な困難に陥った学生への支援としての緊急学生支援金(月額3万円×3か月)を支給することを目的とした取り組みに対しては、これまで233名の方から合計1250万6500円(2020年7月6日現在)のご寄付をいただきました。またAPU卒業生・教職員の有志による、学生への直接的な食料等配布を行うAPU Hands宛のご寄付については、257名の方から合計647万6200円のご支援をいただきました。

受付開始からわずか2か月あまりで、合計約2000万円ものご寄付をお寄せいただきましたことに、重ねて感謝申し上げます。今回ご支援くださったのは、大分・別府の地域住民の皆さま、世界中に散らばるAPUの卒業生、教職員をはじめとしたAPU関係者などの皆さまでした。まさに「One APU」で、多様な皆さまが今困難にある学生たちを支えてくださっていると、胸が熱くなる想いがしました。

皆さまからご支援をいただいた緊急学生支援金については、立命館学園からの支援金と合わせて、学生約600名に3万円×3か月分の給付を行う手続きを現在進めております。またAPU Handsはこれまでのべ2417名の学生に食料を届けることができました。今後も引き続き学生への食料支援を行っていく予定です。

今回ご支援をくださった皆様も、コロナウイルス禍で大変困難な状況にあることと存じます。コロナウイルスの感染については未だ予断を許さない状況が続いておりますが、一刻も早くこの事態が収束し、日常が戻ることを願っております。引き続き、学生たちがAPUで学び続けることができるよう、大学としても最大限の支援を行ってまいります。今後ともAPUへの温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年7月17日
立命館アジア太平洋大学（APU）学長
出口 治明

立命館アジア太平洋大学
2020年7月17日 配信 APUリリース 2020-12

【APU Hands代表者からのメッセージ】

APU Handsに支援いただいた皆様へ

日頃より、APU Handsの活動にご理解いただき、またご支援いただき誠にありがとうございます。
私たちは、4月中旬ごろ、学生たちの苦境を知り、ふるさとから離れた場所で学生たちが孤独と不安を抱えているかと思うと居ても立っても居られず、立ち上がりました。

APUは今年開学20周年を迎えました。開学当初に入学した私たちにとって、この20年というのは感慨深いものがあります。地域の皆様や企業の皆様、そして世界各国の関係者の皆様の支援があって、この20周年を迎えることができたのです。私たちが学んだ多文化環境が魅力のAPU、そして別府という国際温泉観光都市で、今の学生たちにも学び続け、将来世界をよく良くする人間になってもらいたいと考えています。

これまで私たちにいただいた支援の手を、今度は私たちから学生たちへ支援のバトンとして繋いでいきたい。今回、団体名には「手を差し伸べる」という思いを込めて、APU Handsと名付けました。まずはお腹が満たされれば、希望も持て、そして次第に明るく未来を考えていければと思います、準備期間 2 週間余りで食料支援を始めることができました。

それからは、校友の皆様、立命館校友の皆様、地域の方々、APUを応援して下さる皆様のお力添えのおかげで、APU Handsの活動がどんどん広がり、支援の輪が広がりました。送られてくるたくさんのメッセージが書かれた支援物資や毎日少しずつ積みあがっていく寄附金に、胸がいっぱいになりました。人と人とのつながりの絆にAPUの底力を感じました。

皆様からのご支援は、7月9日時点で647万6200円に上り、延べ2417名の学生に物資を届けることができました。支援いただきました皆様、誠にありがとうございます。また団体設立を許可いただいた大学関係者の皆様にも、この場をかりて、感謝申し上げます。

まだまだコロナ禍でどこまで影響が続くのか分かりません。しかしながら、今後とも学生の気持ちに寄り添って活動を続けてまいります。引き続き、ご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

APU Hands 代表 李在九、江原まゆみ、岡田祥伸

【APU Handsのこれまでの活動】

1. 設立背景

新型コロナウイルスの影響で帰国できない、地元に戻れない学生が別府市内に一定数存在していることを知り、アルバイト収入の減少等で生活に苦勞している学生を支援するために設立した任意団体。当団体は立命館アジア太平洋大学の卒業生と教職員有志で構成。APU Handsという名称には「手を差し伸べる・手を携える」という意味を込められている。

2. 構成員

立命館アジア太平洋大学の卒業生と教職員有志（約40名）

3. 寄付金・寄付物資＊7月9日現在

寄附金総額 647万6200円（257件）

寄付物資件数 104件

ニュースリリース



20周年、
世界を変える
物語はつづく。
立命館アジア太平洋大学
2000・2020

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学

2020年7月17日 配信 APUリリース 2020-12

4. 活動記録

5月2～5日 第1回目配布 マイニチモンキーによる配送（物資受取人数：260名）

5月7～10日 第1回その2 マイニチモンキーによる配送（物資受取人数：180名）

5月17日 第2回目配布 APUプラザにて（物資受取人数：302名）APハウスにて（物資受取人数：57名）
計359名

5月31日 第3回目配布 APUプラザにて（物資受取人数：544名）APハウスにて（物資受取人数：86名）
計630名

5月25日 気温上昇に伴い衛生安全面を考慮してなま物（肉・魚）を受入は辞退する方針を決定

6月2日 応援動画メッセージプロジェクトスタート「Stay with APU」Facebookで展開

6月14日 第4回目配布 APUプラザにて（物資受取人数：496名）APハウスにて（物資受取人数：73名）
計569名

6月28日 第5回目配布 APUプラザにて（物資受取人数：約300名）APハウスにて（物資受取人数：約70名）
計約370名

5. 7月以降の食料配布方針

これまで米・マスクの食料配達を行った後、APUプラザとAPハウスにて食料配布を行っていましたが、学生対象の補助金やアルバイト雇用などが増加してきたことを受け、2週間に1度行っていた大規模な配布を下記内容にて縮小して実施します。
受け取り方法：食料を受け取る学生は、事前申請をし、最寄りの配布所（APUプラザ、APハウス1）にて管理人から食料を受け取る。

期間：毎月の第2週目に配布を行う。密を防ぐため、学生は指定された日に受け取りに行く。

※APU Handsの活動詳細については、APU HandsのFacebookページをご覧ください

<https://www.facebook.com/APU-Hands-104539751246875>

